

【支援企業紹介】 ②



株式会社 WING

技術力と提案力で 「樹脂加工日本一」を目指す

いわて商談会 ④

岩手/首都圏商談会 ⑤

工業統計調査 ⑤

加速器関連産業参入セミナー ⑥

北東北3県域アバレル企業
ビジネスマッチングフォーラム ⑦

設備貸与制度 ⑧

WINGの

これがポイント!

板状、あるいはブロックの樹脂原型は、切削・曲げ・接着・樹脂溶接という工程を経て製品となる。素材に合わせた加工、コストを意識した作業工程など積み重ねたWINGの技術力は、岩手が全国に誇るものだ。



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

1月 [JANUARY]

未定 とうほく6県
自動車関連技術展示商談会

2月 [FEBRUARY]

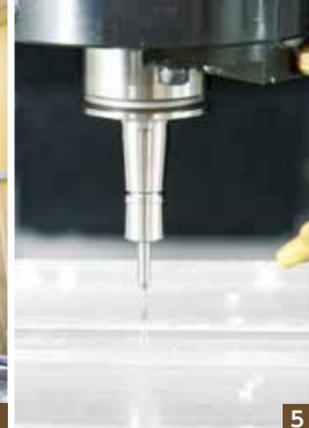
25日~27日 PVEXPO2015
第8回国際太陽電池展
13日 岩手/首都圏商談会(東京)

3月 [MARCH]

未定 工程改善研修会 活動報告会

技アリ!

いわての仕事録



工場内は大まかに部品製造・組み立てに別れる。樹脂加工は流れ作業ではなく各人が作業工程を理解することが重要で、管理職や先輩による指導も現場で行われている。通常技術習得には2、3年かかるが、「各人の仕事への意識は非常に高い」と高橋正広工場長。

2 3 4 管理者の下、5チーム編成で業務にあたる。樹脂は種類も多く性質も違うため、それぞれに合わせた加工法に精通することが重要。

5 切削の精度を上げることで研磨や組み立てなど工程の省力化はもちろん、品質の向上にも繋がっていく。

6 検査室には、今年度のものづくり補助金の採択を受けて導入された3次元測定器が。金属切削加工では当たり前の装置も、樹脂加工で導入するのは珍しくない。

7 8 工作機械等が整然と並ぶ工場。設備投資も行うが「結局は人」と高橋社長。

9 CADルーム。11月には3DCADを追加導入、業務も高度化。

10 北上市に立つWING本社工場。

「樹脂加工日本一」を目指す 技術力と提案力で

代表取締役社長
高橋 福巳

【支援企業紹介】北上市 株式会社 WING

岩手では数少ない樹脂加工製造 一貫生産体制と提案力が武器に

工業品製造に関わる企業は多岐にわたり、岩手県においては金属製品製造が主流である。そういう意味で北上市にある株式会社WING(ウイング)が取り組む樹脂製品製造は、本県では「マイナー」な部類に属するが、実は同社のように樹脂の切削・曲げ・溶接等の総合技術を有する企業は東北はおろか全国的にも少ない。

「創業時より、樹脂加工で日本ナンバー1を目指してきたから」。15年前、6人の仲間と会社を立ち上げた高橋福巳社長はそう話す。同社はオンリーワンというべき技術力で、全国から一

目置かれる企業なのだ。

同社が創業した1999年(平成11)は、ものづくりの転換期。起業家生まれ、国も雇用確保から支援に動いていた。同社も前年に完成した花巻市起業家支援センターに入居、半導体製造装置の主要部品製造を大手メーカーから受注し好調なスタートを切った。その後は平成の大不況を経験するも、液晶テレビの普及とともに液晶ディスプレイ製造装置事業に参入し業績を伸ばす。リーマン・ショック、そして2011年の東日本大震災では取引先の手続きのリスク回避により仕事の多くを失うも、同年5月には納品を再開する。

いくつもの大波を乗り越えられた要

樹脂加工では珍しい一貫生産体制を有し、大手メーカーと直取引するWING(ウイング)。技術や品質を武器に受注環境の厳しさを乗り越えてきた同社の高橋社長は、新たな事業への参入にも積極的だ。

【いわて産業振興センターの活用実績】
ビジネス動向を知るため、センターが実施する展示会や商談会を積極的に利用。今後はCSR(企業の社会的責任)に取り組んで行くため、専門家等の派遣を要請したい。

因は、分業制が当たり前の樹脂加工業界で一貫生産体制をとり、かつコストや強度を考慮した提案力を有する点と高橋社長。「一般的な大工仕事に対する、宮大工のものづくり。そのぐらいの『違い』があるだろう」と、自社の技術力を表現する。

東北の技術が求められている今 医療、自動車分野へも積極展開

だが、いくら強い生産体制を確立していても製造業は社会変化に翻弄されるもの。例えば、あれだけ隆盛を極めた液晶テレビ事業も今や生産量において韓国や台湾に及ばない。

高橋社長も「実は震災前から液晶

分野以外での開発を考えていた」といい、医療、光学、食品分野への参入を展開。2012年には農水省の復興支援としてプラスチック製の大型水槽を製作、沿岸のサケふ化場に導入された。医療機器分野でも、血液の自動分析装置や呼吸抵抗測定装置などに同社の部品が使われている。

「大手メーカーは今、東北の技術力を探しはじめている」。高橋社長の言葉に確信がこもる。それは医療機器・自動車・半導体の三大産業分野への事業参入を目指して岩手県が実施する展示会や商談会、そして振興協議会等で得た手応え。自動車メーカー関連企業からの依頼も実際入りはじめていると言ひ、これまでの取り

組みの成果が現れはじめた。

海外への技術流出は樹脂加工も例外ではなく、特にここ数年は難易度の高い「組み立てもの」までも海外に作らせる企業が出てきているという。

「だからこそ、岩手でもものづくりで生き残るためには、『ここでしか作れないやり方』や『作り方の操作や工夫』を創造していくしかない。目指すのは、どんな難しくても最先端なもの『あそこなら作れる』と言われる会社。時代の変化とともに知恵をつけてくる海外に対し、うちはその一歩先を目指していきます」。

さらなる技術向上はもとより人材確保にも積極的な同社。企業力を高め、激動の時代へと向かっていく。

一貫生産で精密切削から大型切削品まで対応

樹脂加工業界は切削・接着・曲げ加工・溶接などの分野ごとに会社があり、それぞれ独自のノウハウを持っています。当社のように全工程を行え、精密切削から大型切削まで手がける会社は非常に珍しい。この技術継承にも力を注ぐべく、人材確保と育成に取り組んでいます。

技アリ!ポイント

企業データ

会社名 株式会社 WING
本社 北上市二子町秋子沢118-8
電話 0197-81-6056(代表)
代表者 高橋 福巳

創業 平成11年(1999年)12月
従業員 25名
業種 樹脂加工、各種成型・モデル制作
URL <http://wing-pp.co.jp/>



平成26年度 いわて商談会を開催しました

11月13日(木)、北上市のホテルシティプラザ北上2階「銀河・白鳥・昴の間」において、「平成26年度いわて商談会」を開催しました。

いわて商談会は、「ものづくり企業」(casting, iron/steel, mechanical processing, sheet metal, press, resin, surface treatment, electronic devices, metal material companies etc.) の商談の場として、新規取引先開拓のきっかけ作りを目的に毎年開催しており、今年で36回目となります。

商談会には、東北、首都圏のほか、愛知県や新潟県などから発注企業が89社参加し、受注企業は177社(県内企業100社、県外企業77社)の参加がありました。

商談会は、午後1時に開始し、1回15分の指名商談を1社につき最大10回まで行い、その後、事前予約なしのフ

リー商談を5回、5時45分まで行いました。

商談件数は延べ970回に及びなど、各社とも真剣に、熱心に商談を行い、終了後の懇親会では名刺交換や情報交換が盛んに行われていました。

翌14日(金)には、花巻市・和同産業(株)を会場に、工場視察を実施し、発注企業の担当者の皆さまに「岩手のものづくり」の現場への理解を深めていただきました。

例年、いわて商談会では、多くの商談が成立しています。今回の商談会に参加して頂きました発注企業、受注企業の皆様に感謝申し上げますとともに、商談等の進展をご期待いたします。

今後も当センターでは、商談の場を設け、企業の皆様を支援してまいります。

「平成26年度岩手／首都圏商談会」開催のご案内

主催／公益財団法人いわて産業振興センター 後援／岩手県

センターでは来年2月に東京都で「岩手／首都圏商談会」を実施します。対象業種を限定することで、岩手県から参加する企業と、首都圏発注企業の相互理解を深め、新規取引につなげることを目的に開催するものです。県内企業の皆さまの参加をお待ちしています。

開催日時 **平成27年2月13日(金) 13:00～16:45**

会場 **東京都港区芝公園3-5-8 「機械振興会館」**

東京メトロ日比谷線……………神谷町駅下車 徒歩8分
都営地下鉄三田線……………御成門駅下車 徒歩8分
都営地下鉄大江戸線……………赤羽橋駅下車 徒歩10分
都営地下鉄浅草線・大江戸線……………大門駅下車 徒歩10分
※神谷町駅より無料送迎バスがあります

対象業種 鋳物、機械加工、プレス、板金、成形

募集企業 発注企業30社前後(首都圏企業)
受注企業60社前後(岩手県内企業)

参加経費 無料 ※交通費は各社ご負担願います

日程 12:00～ 受付
13:00 開会
13:10～16:35 商談 (8回・各20分を予定)
16:35～16:45 名刺交換

申込方法 当センターホームページ(<http://joho-iwate.or.jp>)の「センターからのお知らせ／岩手／首都圏商談会」の申込書に入力の上、下記のどちらかの方法でお送り願います。

①メール sitauke@joho-iwate.or.jp
②FAX 019-631-3830

申込締切 平成27年1月23日(金)

昨年の様子



お問い合わせ／ものづくり振興グループ TEL019-631-3822

経済産業省からのお知らせ

工業統計調査

経済産業省では、工業統計調査を平成26年12月31日現在で実施します。本調査は、製造業を含む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。

本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関等においても広く利用されています。

調査をお願いする製造事業所には、本年12月中旬から来年1月にかけて統計調査員が調査票を持って伺いますか、または国から直接郵送でお届けいたしますので、お忙しい時期とは存じますが、調査にご理解いただきますようお願いいたします。

なお、皆様からご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

10月28日(火)盛岡地域交流センター「マリオス」を会場に 平成26年度第1回「加速器関連産業参入セミナー」 (加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の加速器産業への参入可能性調査事業 中間報告会) を開催しました

当センターでは、岩手県から「加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の「加速器産業への参入可能性調査事業」を受託し、加速器関連の製造工程の分析、工程ごとに求められる技術や必要となる機械・設備等の内容、県内企業の加速器産業への参入可能性について調査を行っており、参入セミナーは、中間報告会を兼ねて開催したものです。

セミナーでは次のとおり中間報告と講演を行いました。

加速器製造に関わる要素技術の分析及び県内企業の加速器産業への参入可能性調査事業 中間報告

【報告者】 公益財団法人いわて産業振興センター 科学技術コーディネーター 大森 健一

講演1:「ILC超伝導加速空洞の開発状況と今後の展開」

【講師】 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構
共通基盤研究施設 機械工学センター長 教授 山中 将 氏

講演2:「ILCクライオモジュールの開発状況と今後の展開」

【講師】 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構
加速器研究施設 教授 早野 仁司 氏

質疑及び意見交換:加速器関連産業参入企業に期待されること

【司会】 公益財団法人いわて産業振興センター 科学技術コーディネーター 大森 健一

【講評】 大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構 名誉教授
東北大学・岩手大学 客員教授 吉岡 正和 氏

参加人数は、産学官合わせて117名となり、参加者からは非常に有益であったとの声が多く寄せられました。

セミナー後の交流会では研究会(分科会)の開催等の要望が出るなど、県内企業の加速器関連産業への参入につながる活発な意見交換がなされ、情報発信・関係者の交流の場となりました。

次回のセミナー(最終報告会)は、年明け2月16日(月)にホテル東日本盛岡を会場に開催を予定しております。



KEK 早野教授



KEK 山中教授



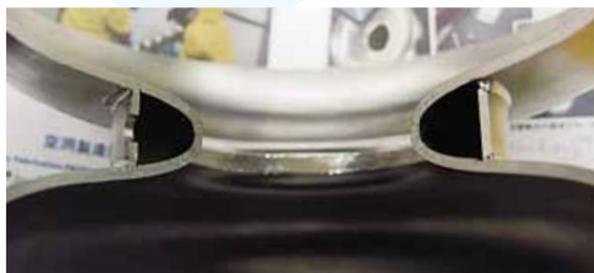
質疑・意見交換



質疑・意見交換



聴講風景



加速空洞断面 サンプル



ニオブ製超伝導加速空洞



北東北3県域アパレル企業 ビジネスマッチングフォーラム

岩手県ではこの度、北東北3県のアパレル関連のものづくり企業の交流促進と、首都圏等発注企業との取引の活性化を図るため、標記フォーラムを開催することといたしました。

岩手県、青森県、秋田県の企業の皆様、3県企業間の情報交流と、発注企業とのビジネスマッチングにより、自社をアピールする場として、本フォーラムへのご参加を是非ご検討願います。

【開催日時】平成27年2月19日(木) 13:00~18:30(交流懇親会 17:00~)

【開催場所】岩手県二戸市福岡字八幡下69-1「二戸パークホテル」TEL:0195-23-5151

参加対象 岩手県、青森県、秋田県のアパレル関連のものづくり企業、首都圏等のアパレル製品製造の発注企業

開催内容 (1) 参加企業紹介
(2) ビジネスマッチング(個別面談、フリー面談) ※事前に名簿を送付し、マッチング希望を確認します。
(3) 交流懇親会
(4) 展示コーナーセッション(北東北3県企業がサンプル等製品を展示するコーナーを設置)

参加料 北東北3県企業=1名につき5,000円(当日申し受けます) 首都圏発注企業=無料

申込締切日 平成27年1月16日(金)

主催 岩手県県北広域振興局、(公財)いわて産業振興センター

共催・後援 【共催】三圏域連携懇談会(二戸市、久慈市、八戸市)
【後援】(公財)21あおもり産業総合支援センター、(公財)あきた企業活性化センター、
県北ものづくり産業ネットワーク

お問い合わせ (公財)いわて産業振興センター 産業支援グループ(担当:高館) TEL019-631-3823

設備貸与制度のご案内

長期

5年～10年

低利

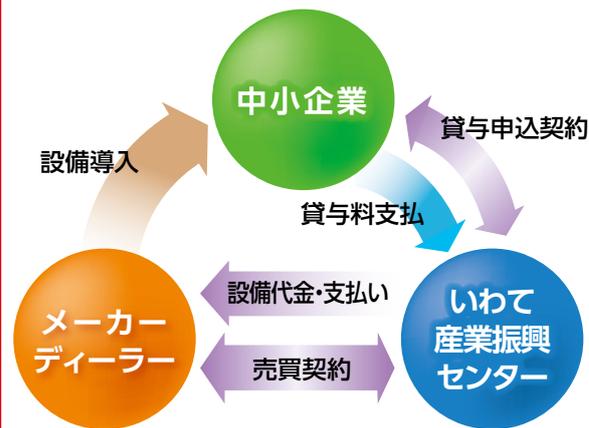
年1.65%

無担保

金融機関の借入枠とは別枠です

制度のしくみ

「設備貸与制度」は、中小企業の皆様が機械・設備を導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して、低利で割賦販売またはリースをする、公的制度です。



以下のいずれか1つの条件を満たせば、

最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000/ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)～(6)に該当する企業でも可

東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

**最長10年、措置期間2年
利息1.55%で貸付可能です。**

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)
貸付期間	原則5年または7年	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円～8,000万円	100万円～8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	—
利息(貸与損料)リース料	年1.65%	5年=1.822% 7年=1.346%
連帯保証人	法人:代表者1名、個人事業主:なし	

お問い合わせ

総務・金融グループ

☎019-631-3821 FAX019-631-3830
http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi

(公財)いわて産業振興センター広報誌

産業情報いわて

2014年12月10日(毎月10日発行)

発行/公益財団法人 いわて産業振興センター

〒020-0857 盛岡市北飯岡2丁目4-26(岩手県先端科学技術研究センター2F)

TEL.019(631)3823 FAX.019(631)3830

E-mail joho@joho-iwate.or.jp URL http://www.joho-iwate.or.jp/

編集印刷/川嶋印刷株式会社



この冊子は地球に優しいベジタブルオイルインクを使用しています。